

第10次中期経営計画

中期経営計画(2017~2019年度)

経営基本方針

[Sanyo Global Action 2019]

～山陽ブランドのグローバル化による持続的成長の追求～

- ◆ 事業基盤の強化を通じた盤石な企業体質の確立
- ◆ 研究開発・品質競争力の強化による技術先進性の更なる追求
- ◆ 「高信頼性鋼の山陽」のグローバルブランド化の推進

経営理念「信頼の経営」のもと、生産構造改革を実行し事業基盤を強化することで、安定的な収益を確保できる盤石な企業体質を確立する。また、技術先進性を更に追求し、「高信頼性鋼の山陽」のグローバルブランド化を推進することで、競争激化、原料・エネルギー価格の上昇等厳しい環境の中でも持続的成長(人・技術・利益)を追求していくことを基本的な考え方とする。

重点施策

事業基盤の強化を通じた盤石な企業体質の確立

(1)生産構造改革(Sanyo Factory Renovation)の実行による競争力強化

- 第二棒線工場等のボトルネック解消
 - 物流の整流化・直結化
 - AI, IoTの活用による自動化・効率化
- **コスト競争力・納期対応力を強化**

(2)安定的な収益の確保

- **鋼材事業の収益安定化**
 - 原料・エネルギー価格影響をコストダウン、販売価格で吸収
 - 伸長する特殊鋼外需を的確に捕捉
 - 品種構成の改善
- **非鋼材事業の規模拡大による
全社収益安定性の向上**
 - 9次中期に実行した投資を着実に立上げ、成長市場を捕捉
素形材事業：タイ(SSSP)・メキシコ(SMM) 特殊材事業：第2粉末工場
 - 非鋼材事業の売上規模 2016年度比 1.5倍

(3)経営基盤の強化

- **迅速・透明な経営の推進**
 - 執行役員制度(2017.6~)の定着
 - 安全・防災・環境・コンプライアンスの継続強化
- **人材の確保・育成**
 - 国際化対応、技能伝承に向け定期採用を強化(9次中期比 2.7倍)
 - 再雇用制度改善、女性活躍支援等のダイバーシティの継続推進
 - ワークライフバランスに配慮した働き方改革の実行
- **株主還元強化**
 - 連結配当性向の下限を25%に(現状20%)
 - 2019年度に連結配当性向30%を目指す

研究開発・品質競争力の強化による技術先進性の更なる追求

(1)軸受鋼をコアとする品質競争力の強化

- コア技術「高潔度鋼製造技術」をベースとした内部品質の優位性を堅持
 - 工程改善と品質保証の高度化による外観品質のレベルアップ
- **「内部品質・外観品質
グローバルNo.1」を目指す**

(2)研究開発の推進

- 研究開発費 9次中期比 1.1倍(46→50億円)
 - 基盤研究と商品開発の機能明確化
 - 中長期の研究開発企画機能の強化
- **高信頼性商品と新技術を
迅速かつ継続的に創出**

高信頼性鋼の山陽」のグローバルブランド化の推進

(1)グローバルブランド化の施策の推進

- **当社ブランド力の源泉(QCDD力※)の強化**
 - 海外拠点の役割強化
 - 素形材事業6極体制の確立
 - グローバルサプライチェーンの構築
- **グローバル
ブランド化**

(2)認知度の更なる向上に向けた取組みの推進

- 技術企画機能を強化し、お客様との技術交流を加速
 - 国内外への情報発信を強化
…積極的にPR活動、IR活動を展開
- **グローバルでの
ブランド浸透**

投資

●3年間で500億円を計画化(9次中期比 1.4倍)

- 戦略投資 250億円/3年…生産構造改革投資、M&A 等
- 一般投資 250億円/3年
…省エネ等のコスト削減投資、省力化投資、品質対応、老朽更新等